

2004 年度 W G 活動成果報告

(2005 年 3 月 29 日作成)

W G 名	福祉施設 W G	主 査 名 : 三 浦 昌 生
所属小委員会	環境設計小委員会	主 査 名 : 三 浦 昌 生
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	<p>高齢者・障害者等の地域生活を支える上で施設福祉と在宅福祉は補完し合う関係にあり、福祉施設には総合的な地域福祉の拠点としての役割が期待されている。こうした施設は利用者にとって健康的で快適な場でなければならず、この点に着目した研究者が施設の室内環境を実測した成果を学会内外で発表している。</p> <p>本 W G は、特別養護老人ホームや障害者入所施設などの福祉施設に着目し、そうした施設の音・熱・光・空気等の環境要素から見た室内環境に関する研究を横断的に整理し、室内環境のあり方をまとめることを目的とする。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	三浦昌生(芝浦工業大学), 五十嵐由利子(新潟大学), 野部達夫(工学院大学), 光田 恵(大同工業大学), 福多佳子(横浜国立大学)	
2004 年度予算	100,000 円	

項 目	自己評価
W G 活動状況 (開催日・参加人数)	2004 年 7 月 29 日(木) 委員 5 名 + ヒアリング対象者 1 名 2004 年 12 月 10 日(金) 委員 5 名 + ヒアリング対象者 1 名 + オブザーバ 1 名 2005 年 3 月 28 日(月) 委員 4 名 + オブザーバ 1 名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>(1) 福祉施設室内環境チェックリストの試作 室用途×環境要素マトリックスの各欄に、室内環境のチェックポイントを箇条書きにしたチェックリストを試作中。</p> <p>(2) 福祉施設関係者ヒアリング 中央法規出版の平林敦史氏を招き、高齢者福祉施設の室内環境の実情についてヒアリングを行った。利用者には選ばれる立場になったとき、施設の住環境の真価が問われる。この W G の活動成果がまとめれば、高齢者施設の介護職員などにとって有用な情報となろう。</p> <p>(3) 高齢者福祉施設長ヒアリング 特別養護老人ホーム「クロスハート栄・横浜」の片山聖子施設長を招き、高齢者福祉施設の室内環境の実情についてヒアリングを行った。音、振動、光、色、湿度、臭気、空調設備、床暖房、日射遮蔽などについて施設の実情を詳細にヒアリングした。</p> <p>W G の HP アドレス : http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s2/welfareWG/framepage.htm</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <p>試作中の「福祉施設室内環境チェックリスト」を施設長に提示したところ、施設長はこのマトリックスの各欄をひとつずつ辿ることによって施設の実情を具体的に報告した。つまり、多岐にわたる施設の実情がこのマトリックスによって体系的に引き出され、室用途 - 環境要素マトリックスの有効性を確認した。また、福祉施設関係者や施設長からのヒアリングを通して高齢者福祉施設の室内環境の実情を把握し、当初の目標を達成した。</p>
その他評価すべき事項	<p>これまでチェックリストは設計者のために作られてきたが、現在試作しているのは福祉施設の介護職員のためのものである。このチェックリストをもとに今後、室内環境のチェックポイントを文章で解説する。この資料により福祉施設の介護職員が施設の室内環境を見直し、改善するきっかけとなる。</p>